

【編集・発行】大田区自立支援協議会

【共同事務局】大田区福祉部障害福祉課

【電話】 03-5744-1700 【FAX】 03-5744-1555

大田区立障がい者総合支援センター 【電話】 03-5728-9133 【FAX】 03-5728-9136

平成29年1月

大田区自立支援協議会とは...

「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して定期的な協議を行い、地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うことを目的として、区が設置しています。

大田区の自立支援協議会の構成メンバー

平成20年度から始まった自立支援協議会は、委員の他に5つの専門部会ごとの専門部会委員が加わっています。テーマを持って協議を進める専門部会には、関わりある立場の専門部会委員が今年度は合わせて44名、またオブザーバーとして区の職員の他、様々な立場の方が参加しています。

志村陽子

マークの説明

- 行政機関
- 各種法人、団体（施設・事業所を除く）
- ▲障がい者施設（生活介護）
- △障がい者施設（就労移行、就A、就B）
- 学校 □病院
- ◆事業所（相談支援、居宅介護系等）
- ◇事業所（児童発達支援、放課後等デイ）
- ★当事者・親の会

相談支援部会

～本人が主人公！繋がりを大切に～

- 障がい者総合サポートセンター ◆糀谷作業所
- ★大田区知的障害者育成会 ○大田区社会福祉協議会
- ★肢体障害者福祉協会 ◇みんなの家 ▲新井宿福祉園
- ★精神障害者家族連絡会 ◆こうじや生活支援センター
- ◆かまた生活支援センター ○おおたTSネット ◆ASK
- ◆アイエルロード ◆風雷社中 ◆さんさん幸陽
- ◆障がい者相談支援事業所らっこ
- ◆たすけあい大田はせさんず



防災部会

～安全・安心地域のネットワーク～

- ★大身連 ★視力障害者福祉協会 ★聴覚障害者協会
- ★大田区知的障害者育成会 ◆はんぺんブラザーズ
- 田園調布特別支援学校 ■矢口特別支援学校
- 城南特別支援学校 ●消防署 ●警察署
- 障がい者総合サポートセンター
- ▲△福祉避難所施設長 ●防災危機管理課

子ども部会

～子どもが主役～

- ◆たすけあい大田はせさんず ◇みんなの家
- 東邦大学医療センター大森病院 ◆まひろ
- ◇あかしろきいろ発達支援一む ★保護者
- ◆朱紅 ◆港特別支援学校 ■城南特別支援学校
- 田園調布特別支援学校 ■品川特別支援学校
- 矢口特別支援学校 ★大田区知的障害者育成会

本会

就労支援部会

～働けない？働きたい！働き続けたい～

- △東京都大田福祉工場 △ステップ夢 △樹林館
- △うめのみ園 ○おおた市民活動推進機構
- 牧田総合病院 ■東京工科大学医療保健学部
- 矢口特別支援学校 ■田園調布特別支援学校
- △みどりの歩み △LITALICO ワークス蒲田
- △のぞみ園 ◆まひろ ★大田区知的障害者育成会
- 立教大学コミュニティ福祉学部

地域移行・地域生活支援部会

～戻る仕組みと支える仕組み～

- ★重症心身障害児（者）を守る会 ○田園調布医師会
- ★肢体不自由児（者）父母の会 □大森赤十字病院 ◆ナイスケア
- 南晴病院 ★大田区知的障害者育成会 ★大田区障害者連絡会
- ◆訪問介護リハビリステーションるな △東京都大田福祉工場
- おおた社会福祉士会 ■城南特別支援学校 ◆風雷社中
- ◆かまた生活支援センター □東邦大学医療センター大森病院
- 西武文理大学サービス経営学部

今年は 専門部会を詳しく見る！ <第2回>

今年度の自立支援協議会だよりは、それぞれの専門部会に密着し、部会で担当する課題、検討経過、研修会やイベントなどの取り組みのご紹介、部会で目指している方向性などを、紙面で順番に詳しくお伝えしていきます。

第13号では、前号の**相談支援部会**、**地域移行・地域生活支援部会**、に続いて、**防災部会**、**就労支援部会**、を特集します。

防災部会

防災部会では、「自助」「共助」「公助」それぞれの視点から課題に取り組むことを目標とし、『①ヘルプカードの普及・啓発』『②地域・関係機関との連携方法の検討』『③防災訓練への参加・協力の検討』等を、地域の皆様や関係機関との連携を深め、防災資源の確認や、福祉避難所開設訓練の検証なども進めています。

今号では、防災訓練への参加の様子と福祉避難所について紹介します。



大森東地区総合防災訓練 H28.9.25 9時～12時



六郷地区総合防災訓練 H28.10.2 10時～12時

福祉避難所とは？

災害時要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等）といわれる方々を優先的に受け入れる避難所です。福祉避難所の基本的な考え方は、小・中学校等に設置される避難所に避難後、避難所での生活が困難となった災害時要配慮者の受け入れが必要、と区が判断した際に開設するものです。

大田区の障がい者施設では**22**の福祉避難所が災害時に設置される予定です。

1 新蒲田福祉センター	9 新井宿福祉園	17 のぞみ園
2 上池台障害者福祉会館	10 池上福祉園	18 いずみえん
3 こども発達センターわかばの家	11 大森東福祉園	19 アミークス東鞆谷
4 障がい者総合サポートセンター	12 大田生活実習所	20 東京都立城南特別支援学校
5 大田福祉作業所（本場）	13 しいのき園	21 東京都立矢口特別支援学校
6 うめのみ園（本園）	14 くすのみ園	22 東京都立田園調布特別支援学校
7 久が原福祉園	15 はぎなか園	
8 南六郷福祉園	16 まごめ園	

お住まいの地域の福祉避難所をご確認ください

※平成29年2月15日(水)防災部会で、さぽーとぴあにおける福祉避難所開設訓練を予定しています。

次号予告

『専門部会を詳しく見る!』今年度最終号になる第14号では、**子ども部会**を取り上げます。乞うご期待!



就労支援部会



就労支援部会では年度当初に以下のような予定を定め、部会を進めてきました。また、本年度はそれぞれのメンバーが関わっているネットワークの報告に意識的に時間を取り、その共有をはかりました。

- 1) おおた障がい施策推進プランの進捗状況の評価と見直し
各メンバーが(多くのメンバーは昨年に引き続き)具体的にプランを読み込み、現場での進捗状況をかんがみ、踏み込んだ意見を提出させていただいています。また、次のプランを作成するための実態調査に関しても、前回の調査項目の不十分な点を洗い出し、今回の調査では、その指摘を受けて、前回よりもわかりやすいものになっていると考えます。
- 2) 就労支援ネットワークづくり～地域として共有すべき課題～
 - ・障害福祉サービスを選ばない人(普通高校、大学などの若者支援、生活困窮者支援等)への支援
 - ・中途障がい者の復職・就労支援と経済補償 etc10月の部会で、「JOBOTA」(「生活困窮者自立支援法(平成27年4月施行)施設」)の所長と支援員の方を迎えて、生活困窮者支援のなかでも、とりわけ障がい者支援とかさなる部分についての話をしてもらいました。
11月の部会で、区内のエンカレッジスクールである都立蒲田高校の教育課程や生徒の実態、生徒に対する支援状況、進路などのお話をさせていただきました。障がいのある(あるいはそう考えられる)生徒はいるが、そのための体制がないため、厳しい状況の中で苦闘されていることが垣間見えるお話でした。
- 3) 就労定着支援の質と量の調査に関すること
アンケート調査(56事業所のうち46事業所から回答)を実施し、結果分析を進行中です。
- 4) 企業就労以外の多様な働き方～事例と体験談
12月の部会で、区内に最近できた二つのA型事業所(「プレスト池上」と「ひだまり」)の方の話を伺いました。片方は障がいのある子どものお父さんが始めた事業所であり、もう一つは高次脳機能障がいのご本人が始めた事業所として、それぞれA型事業として、めざすものや現在の課題などについて話させていただきました。

※ 詳細については、大田区のHPに掲載されている議事録をぜひご覧ください。

平成28年度就労支援部会公開セミナーのお知らせ!!

【日時】平成29年2月2日(木) 15:00~17:15

【場所】大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室

多様な働き方を考える—社会参加の新たなシステムを創り出す—

【講演1】「最新の『在宅就業』に関する調査研究事業から」

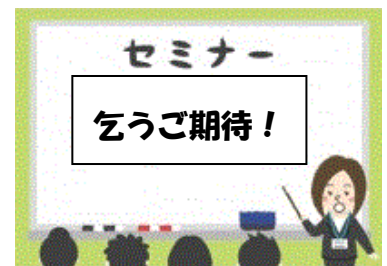
社会福祉法人東京コロニー職能開発室 所長 堀込 真理子氏

【講演2】「『超短時間雇用』の実践—東大先端研IDEAプロジェクトの取り組みから—」

東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 准教授 近藤 武夫氏

●先着120名様までになります。参加希望の方は、事前にご連絡ください。

【連絡先】大田区立障がい者総合サポートセンター就労支援調整係 **電話: 03-5728-9135**



告知

平成28年度大田区自立支援協議会第3回「本会」開催！

平成29年3月2日（木）13時00分～15時30分
さぽーとぴあ 5階多目的室にて ※傍聴可能です。

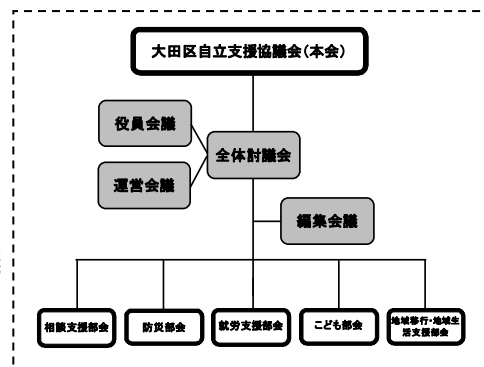
「本会」とは？

22名の「自立支援協議会委員」によって、自立支援協議会としての協議や承認、決定を行うのが「本会」であり、年3回公開で開催しています。

- 第1回：年度当初の顔合わせと活動の方向付けの確認。
- 第2回：中間発表による経過確認と情報交換。
- 第3回：年度末の一年間の活動報告。

また、その都度大田区から障がい福祉施策に関する報告などがある貴重な場です。

みなさまにはぜひご興味をお持ちいただき見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。



『医療的ケアの必要な方の地域生活について～ALSの家族の介護からみえてきたこと～』 地域移行・地域生活支援部会勉強会報告

平成28年12月22日、さぽーとぴあで開催の地域移行・地域生活支援部会の勉強会に参加しました。講師の川口有美子さんは、母親のALS介護と看取りをきっかけに、ALS患者の支援を行いながら、胃ろう・痰吸引・人工呼吸器などの医療的ケアを受けながら家族以外の人からの介助を受けることにより地域での暮らしを可能にするケアの仕組みを作り、実践してきた人です。

今回強調されたのが、当事者が支援の「ハブ（放射状の円の中心）」になって、責任を持って支援の体制を作らなければいけない、そして、現状の制度でそれがかなり可能になっているということでした。

「しかし、本人がハブというのは知的障がいの人にはハードルが高いのでは？」との質問には、川口さんが障がい児教育にかかわっていた経験から、彼らには意思があり、それを読み取る人がいるかどうかの問題とのことでした。それは意思疎通が難しくなったALSの患者でも同様なのかもしれません。

最後に酒井障害福祉課長からのあいさつがあったのですが、本人中心の支援の大切さを自らの経験から具体的に語られていて、印象的でした。

鶴田雅英 大田福祉工場就労支援室



編集後記

- 平成29年最初の『自立支援協議会だより』をお届けします。今回が編集委員としての初仕事ですが、たくさんの方に御協力いただき、無事に作成することができました。本当にありがとうございました。（防災部会 都立城南特別支援学校 柚木秀彦）
- 素敵なコラボレーションと新たなネットワークの構築、協議会のますますの進化を願って、専門部会の活動内容と最新情報をお届けできたなら幸いです。皆様ご協力ありがとうございました。（就労支援部会 矢口特別支援学校 國分由記枝）